2022年2月16日
教育研究改善委員会

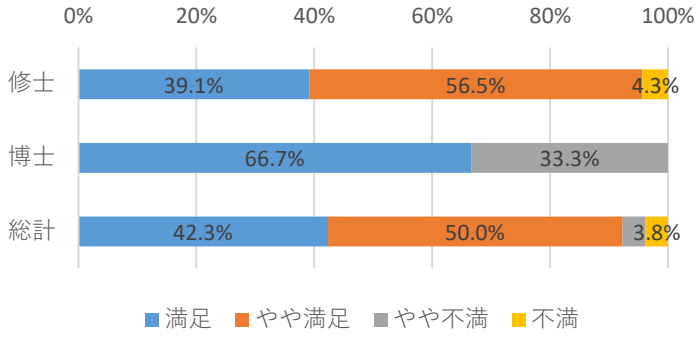
2021年度　学修調査（大学院）の調査結果の概要

1. 調査の目的　本学のアセスメント・ポリシーに基づき、教育と学生支援の質保証のための自己点検・評価の一環として、学生の学修行動の実態や学修の成果を調べることを目的とする。
2. 調査対象者　大学院（修士課程、博士後期課程）の全学生
3. 調 査 時 期　2022年1月7日（金）～1月25日（火）
4. 回収状況　（無効回答２件を除く、カッコ内は回収率）

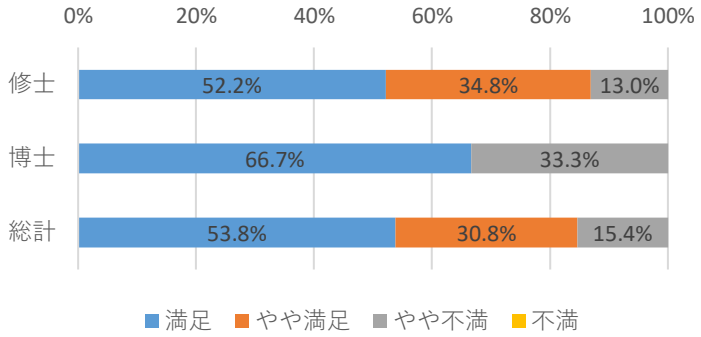
課　程	回答数	対象者数	課　程	回答数	対象者数
修士課程1年	11	19 (57.9%)	博士後期課程1年	1	2 (50.0%)
修士課程2年以上	12	17 (70.6%)	博士後期課程2年	1	3 (33.3%)
計	23	36 (63.9%)	博士後期課程3年以上	1	3 (33.3%)
			計	3	8 (37.5%)

Ⅰ．カリキュラムの内容研究指導と研究環境

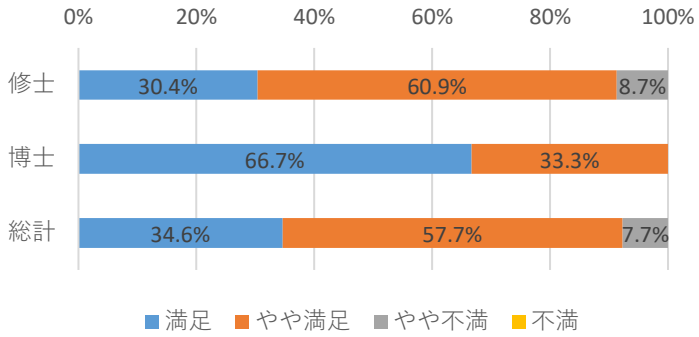
1．カリキュラムの内容



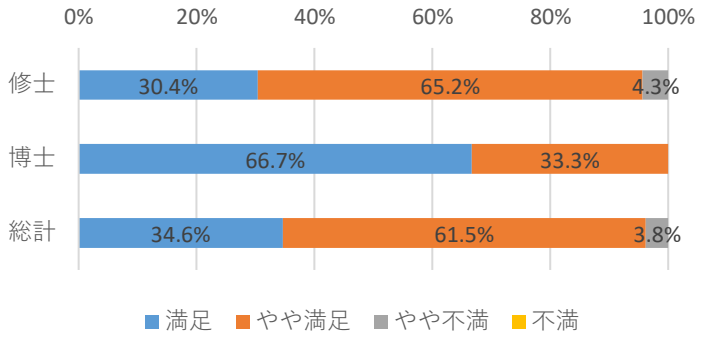
2．研究の進め方や論文作成についての指導



3．専門的な資格取得に向けての指導

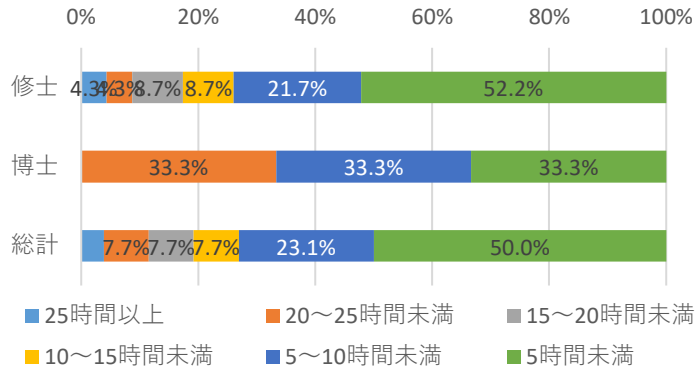


4．成績評価（研究 or 論文評価）

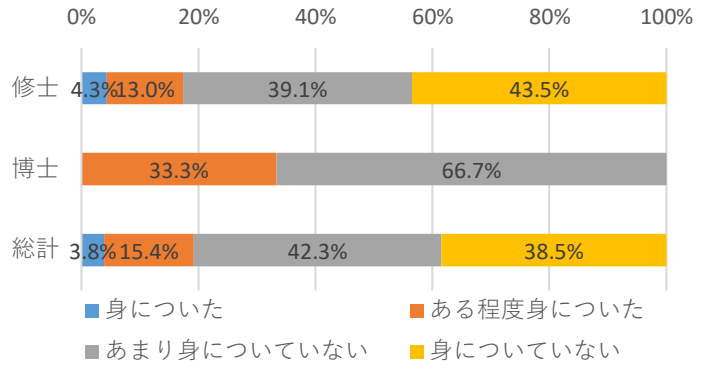


Ⅱ．学修行動・成果について

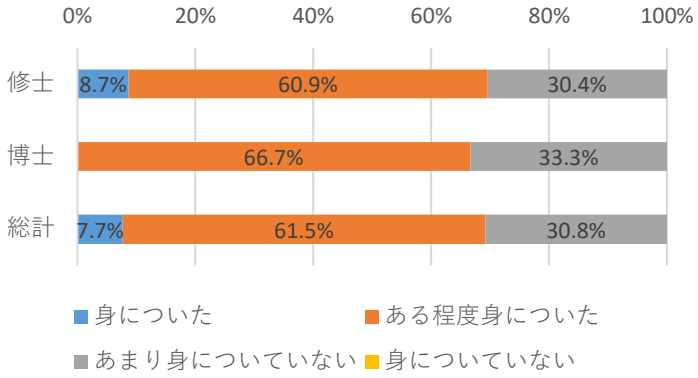
5．授業やゼミ以外での1週間の研究時間



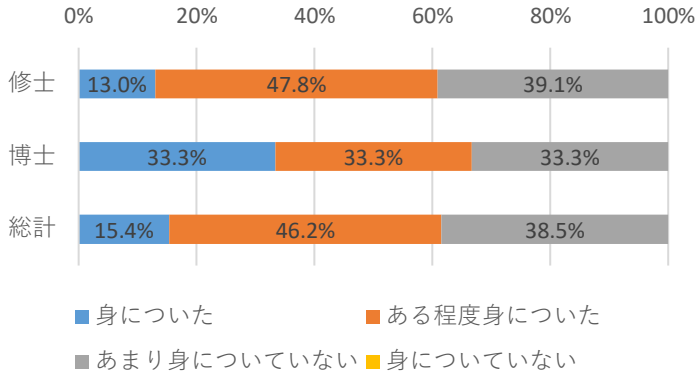
6．研究を進めていく上で必要な外国語能力



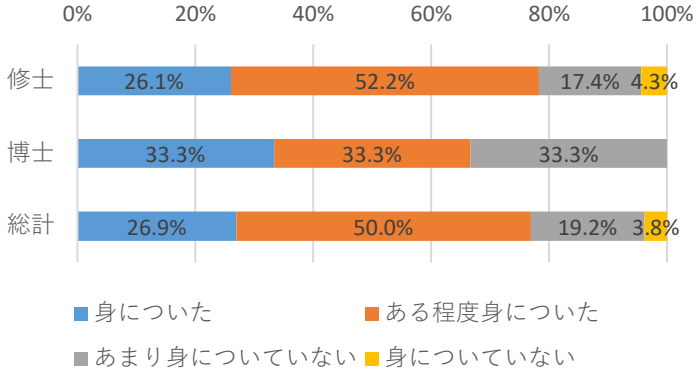
7．研究を進めていく上で必要なICTリテラシー



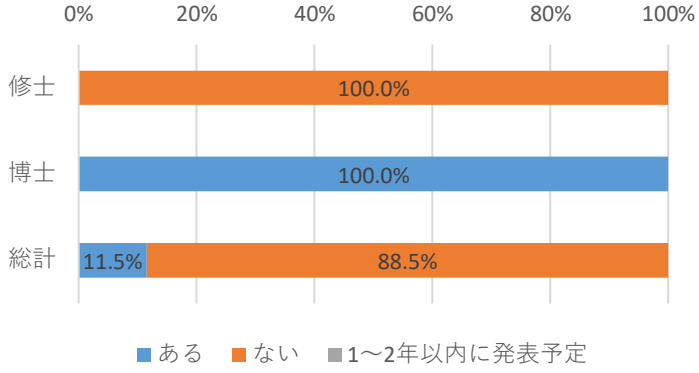
8．研究を進めていく上で必要なプレゼンテーション能力



9．専門分野の資格を取得するために必要な知識の技能



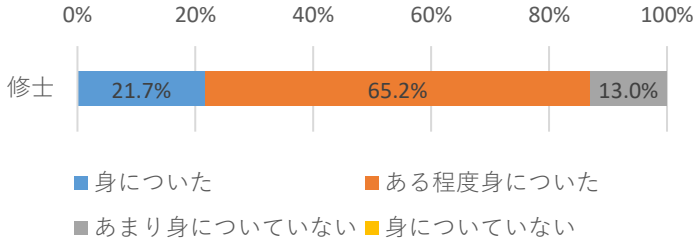
10．研究成果の研究紀要や学会誌、学会などでの発表



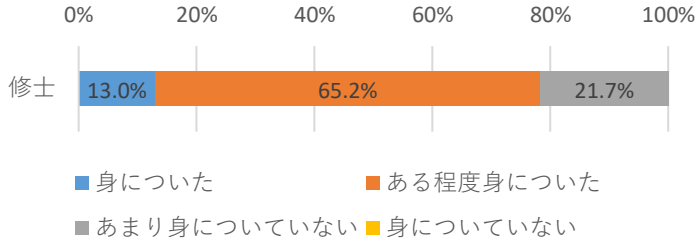
Ⅲ．DPの達成度について（学修成果）

【修士課程】

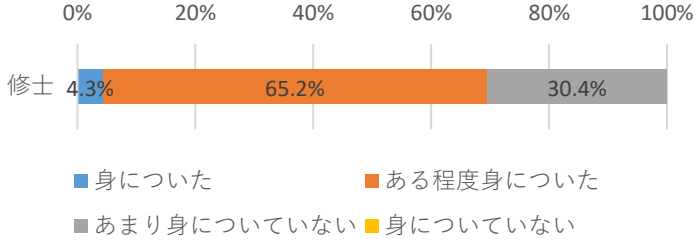
11．「心理支援の専門家」に求められる社会性と倫理観および法規の知識



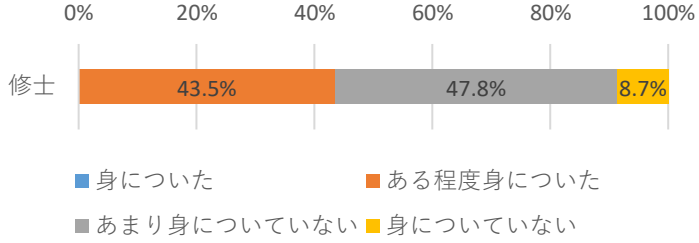
12．心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析することについての知識と技能



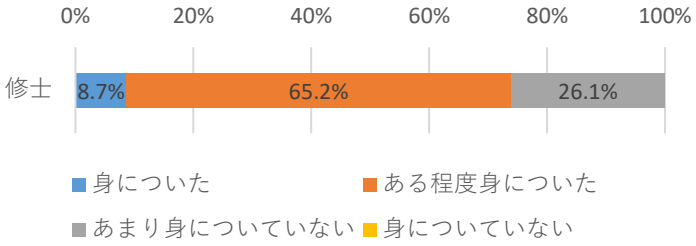
13．心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことについての知識と技能



14．心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことについての知識と技能

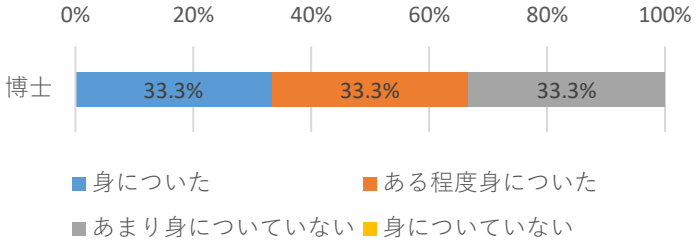


15. 心の健康に関する知識の普及を図るための教育および情報の提供を行うことについての知識と技能

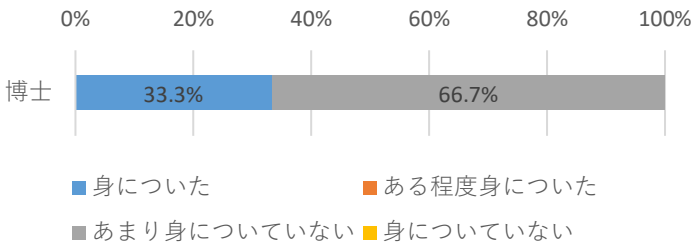


【博士後期課程】

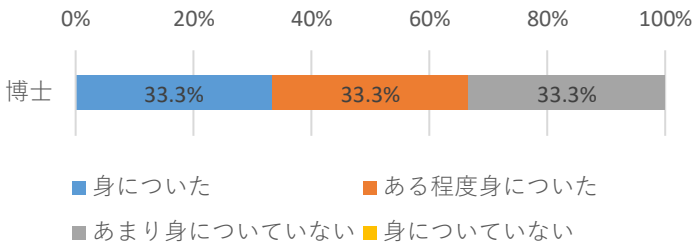
16. 「高度な心理支援の専門家」に求められる深い教養と社会性や倫理観および法規の知識



17. 臨床心理学に関する社会的に意義ある研究を遂行し理論構築を行い公表するための専門性



18. 臨床心理学に関する教育を行うことについての知識と技能



2022年2月16日

教育研究改善委員会

2021年度　学修調査（大学院）の調査結果の主要Facts

1．主要Facts

①「1.研究指導と研究環境」については全体的に高評価

②「2.学修行動・成果について」

・「研究時間」「外国語能力」が相対的に低位

・「必要な知識と技能」「ICTリテラシー」「プレゼンテーション能力」が相対的に高位

・博士後期課程では全員が「論文」「学会発表」済み

③「3.DPの達成度について」

・修士課程では④、①が相対的に高位、③、⑤が低位

・博士後期課程では①、③が相対的に高位、②が低位

2．研究指導と研究環境

	修士	博士	総計
カリキュラムの内容	3.3	3.3	3.3
研究の進め方や論文作成についての指導	3.4	3.3	3.4
専門的な資格取得に向けての指導	3.2	3.7	3.3
成績評価（ 研究 or 論文評価 ）	3.3	3.7	3.3

(注)数値は、満足=4、ある程度満足=3、やや不満=2、不満=1、とする加重平均値。

3．学修行動・成果について

授業やゼミ以外での1週間の研究時間	1.6	2.0	1.7
研究を進めていく上で必要な外国語能力	1.8	2.3	1.8
研究を進めていく上で必要なICTリテラシー	2.8	2.7	2.8
研究を進めていく上で必要なプレゼンテーション能力	2.7	3.0	2.8
専門分野の資格を取得するために必要な知識と技能	3.0	3.0	3.0
研究成果の研究紀要や学会誌、学会などでの発表	1.0	4.0	1.3

(注)数値は、身についた=4、ある程度身についた=3、あまり身につかなかった=2、身につかなかった=1、とする加重平均値。「研究時間」と「発表」は4点満点に換算。

4．ＤＰの達成度について（学修成果）

【修士課程】

①「心理支援の専門家」に求められる社会性と倫理観および法規の知識	3.1		
②心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析することについての知識と技能	2.9		
③心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことについての知識と技能	2.7		
④心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことについての知識と技能	3.3		
⑤心の健康に関する知識の普及を図るための教育および情報の提供を行うことについての知識と技能	2.8		

【博士後期課程】

①「高度な心理支援の専門家」に求められる深い教養と社会性や倫理観および法規の知識		3.0	
② 臨床心理学に関する社会的に意義ある研究を遂行し理論構築を行い公表するための専門性		2.7	
③ 臨床心理学に関する教育を行うことについての知識と技能		3.0	

(注)数値は、身についた=4、ある程度身についた=3、あまり身につかなかった=2、身につかなかった=1、とする加重平均値。